

市役所前の千葉銀行ATM、廃止相次ぐ

「利用者数は減少」主張も、数字の開示拒む

千葉県内の各市役所・町役場の敷地内にあった千葉銀行の現金自動預払機(ATM)が、今年1月頃から順次廃止する動きが進んでいる。このうち印西市役所前の同行ATMⅡ写真Ⅱが1月13日に廃止した件を巡っては、読者から本紙に「新聞で取り上げてほしい」という声が相次いで寄せられている。しかし、取材に対し銀行側は「肝心な点で「回答を差し控えていただきます」を繰り返した。



◆ATMの維持管理費用負担は銀行か市役所か？

千葉銀行は印西市指定金融機関にも関わらず、印西市役所前のATMを撤去した件について、同行広報部は「キャッシュレス化が急速に進展し現金の利用機会が減少する一方、提携コンビニATMは多くの台数が設置されており、当行ATMの利用件数は年々減少している」と述べた上で「自治体に設置するATMは特に利用件数が減少しており、減少率やご利用時間帯の取引内訳、提携コンビニATMを含めた周辺ATMネットワークなどを総合的に考慮し、順次廃止することに」と説明した。

同行広報部は「利用件数を調査した上で、拠点の維持または廃止の判断をしております」というが、具体的な利用者数の減少を示す数字は「弊行の営業にかかる情報につき個別具体的な計数等の回答は差し控えてさせていただきます」と、開示を拒んだ。

市では、同行に市役所前ATMを撤去せずに継続して設置するよう交渉したが、同行側から「(ATMの)設置費用負担の問題が出てくるという」と、市に対し同行のATM設置費用や維持管理費用などの負担を求められたという。同課によると、これまでは同行からの申し出を受けて、市役所前ATM設置場所を同行に貸し付ける形で、市側は維持管理費用など負担せず同行ATMを設置していたという。しかし同行からATM設置費用の負担を求められ、市側は「今までは逆に、印西市側がお金を払ってATMを置く形になる。市がお金を出

してATMを市役所に置いてもらうのは難しい」となり、同行ATMの設置継続を断念したという。

市では、流通系銀行などのATMを設置できないか調査したが、同課によると「どこかの業者も(ATMの)維持管理料は全部有償」と、市の負担が発生するため「行政がATM設置費用を出すのは難しい」として、流通系銀行のATM設置を見送ったという。

千葉銀行広報部は、ATMの維持管理費用の負担に関する質問に対し「個別的具体的な交渉内容につきましては、回答を差し控させていただきます」とコメントした。また、ATMの年間維持管理費用に関しては「弊行の営業にかかる情報」との理由で回答を拒否した。

市役所から一番近いコンビニATMの距離は約400m。片道徒歩5分で行けなくもないが、市役所で納税や各種手数料を支払うなど、現金が必要な場面は多い。ATMが市役所敷地内に無いのは、市役所利用者にとってサービス低下と映る。

同課はコンビニ窓口での納税などを挙げ「市役所で現金での税金納付が減っているのは確か」としつつも「(ATMが)市役所だと

駐車場があるので利便性は高い、という声がある」と、市民からの一定の需要がある事を認めている。

その点について同行広報部は「ご指摘の通り、ATMから現金を引出し税金等を納付されるお客様はいると認識しているが、口座振替やコンビニ支払い、クレ

ジットカード、インターネットバンキング、スマホ決済など、納付方法は多様化しており、代替手段は確保されていると考えている」とコメントした。

同課は「国道沿いにコンビニがあり、他にも銀行のATMがあるので、そちらを利用してほしい」としている。

完全再開5月8日まで販売

GO TO イート千葉、完全再開5月8日まで販売

千葉県は、飲食店を支援する政府の施策「GO TO イート」で、県が標準的な感染対策をしていると確認した「確認店」と、高レベルの感染防止対策をしていると認められた「認証店」の両方で利用できる食事券(20%のプレミアム付き)の販売を4月22日から再開した。

確認店と認証店で使える食事券は、LINEオンラインで販売される電子クーポン(約15万3千セット)と、セブンイレブンで販売される紙券(約5万8千セット)を合わせて、約21万1千セットを5月8日まで販売する。早急に売り切れた時点で販売終了となる。

販売価格は1セット1万円、1万2000円分の食事券に使える。食事券は1回の購入で2セットまで購入可能。購入日から利

LINEで食事券をカンタン購入

20%のプレミアム付き食事券になります。「認証店」「確認店」で利用可能です。

むずかしい申請手続き一切なし！LINEで早くカンタンに購入できます。QRコードを読み取り、友だちに追加して購入してください。

販売期間：令和4年4月22日(金)～令和4年5月8日(日)

※販売上限に達した際は、販売を終了いたします。

友だち追加

USシネマ映画情報

編集部の注目作品はコレ!

※作品によっては上映が終了する可能性もございます。

◆シン・ウルトラマン【5月13日公開】

日本を代表するSF特撮ヒーロー「ウルトラマン」を、「シン・ゴジラ」の庵野秀明が企画・脚本、樋口真嗣が監督を務め新たに映画化。世界観を現代社会に置き換えて再構築した。

(C)2021「シン・ウルトラマン」製作委員会 (C)円谷プロ

◆トップガン マーヴェリック【5月27日公開】

戦闘機パイロットたちの挫折と栄光の日々を描き、世界中で大ヒットした「トップガン」(1986年公開)。

主人公・マーヴェリック役のトム・クルーズを一躍スターダムの頂点へと押し上げた映画史に燦然と輝く名作の最新作が、2022年、ついに公開される!

(C)2021 Paramount Pictures Corporation. All rights reserved.

USシネマ千葉ニュータウン

千葉県印西市牧の原2の2 <https://cinemax.co.jp/>

24時間電話案内サービス 0476(48)2126

5月公開予定作品

5月4日(水)▽ドクター・ストレンジ
マルチバース・オブ・マッドネス

5月6日(金)▽死刑にいたる病

5月13日(金)▽ハッチング 孵化▽バブル
▽流浪の月▽シン・ウルトラマン

5月20日(金)▽大河への道▽ハケンアニメ!
▽鋼の錬金術師 完結編 復讐者スカー

5月27日(金)▽トップガン マーヴェリック
▽20歳のソウル

読者プレゼント

利根新報編集部から、USシネマ千葉ニュータウンの映画ペアチケット(平日・土日)を3組6名様にプレゼントします。

ご応募はハガキまたはWEB版のお問い合わせフォームで受け付けています。内容は▽住所▽氏名▽年齢▽電話番号▽メールアドレスを明記の上で、紙面・WEB版のご意見・ご感想、お薦めの飲食店など様々な情報などもお寄せください。

※応募締め切りは5月31日(ハガキは31日の消印有効。メールは31日到着分まで)

〒270-1326 印西市木下1661-18 (2F)利根新報編集部 読者プレゼント係

印西市のウクライナ支援プロジェクト/募金箱開設

ロシアのウクライナ軍事侵攻を受けて、印西市では人道支援の一環としてウクライナ緊急支援プロジェクトを実施している。

このうち、同市役所1階ロビーには「ウクライナ人道危機救援金」の募金箱Ⅱ写真Ⅱを設置。市民からの多くの募金が寄せられている。募金箱は5月末まで設置予定。

市秘書広報課などによると、市には3月31日時点でウクライナ人道支援に充てる「ふるさと寄付金」が171件27万4千400円集まったという。同時に市職員に救援金の募集を呼びかけたところ、市職員有志から総額58万1千830円集まり、3月30日付で日本赤十字社に送金した。

このほか、印西市ではウクライナからの避難民受け入れを表明しているが、社会福祉課によると「今のところ印西市にウクライナからの避難民は来ていない」という。

ウクライナ人道危機救援金

ウクライナ人道危機救援金の募集について

日本赤十字社では、赤十字国際委員会、国際赤十字・赤新月会連盟、各国赤十字社が実施するウクライナ人道危機救援プロジェクトの募金を受け入れ、ウクライナからの避難民を支援する。下記のとおり海外救援金